

科目名	子どもの保健Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	後期			
担当者名	谷川 和子	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 「子どもの保健Ⅰ」で学んだことを基礎にして、保育現場で出会うことの多い子どもの病気や事故について理解し予防と対策について学ぶ。子どもの健康保持や増進、発達支援を促すための保育者としての責任や役割を学ぶ。							
到達目標 1. 子どもによくみられる感染症や疾患、障害を理解し、その予防や対策、適切な対応について理解できる。 2. 子どもに起こりうる事故やその原因を理解し、その予防や対策、適切な対応について理解できる。 3. 子どもが健康に成長できる環境について考えることができる。			成績評価方法 ・テスト 70% ・小テスト、授業内レポート 10% ・授業外レポート 10% ・授業態度・授業参加度 10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 保育における保健活動							
子どもの保健に関する個別対応と集団への対応							
2) 子どもの健康増進と保育、子どもの生活習慣と心身の健康				課題「基本的な生活習慣の獲得と発達段階を関連づけよう」			
基本的な生活習慣の獲得				発達段階を関連づけよう			
3) 子どもの生活習慣と心身の健康				課題「基本的な生活習慣の獲得と発達段階を関連づけよう」			
基本的な生活習慣の獲得				発達段階を関連づけよう			

4) 子どもの疾病と適切な対応 感染予防と対策、予防接種	小テスト
5) 子どもの疾病と適切な対応 子どもに多い感染症	課題「予防接種で防げる感染症を整理しよう」
6) 子どもの疾病と適切な対応 個別な配慮を必要とする子どもへの対応：アレルギー疾患	グループワーク「食物アレルギーへの対応」
7) 子どもの疾病と適切な対応 個別な配慮を必要とする子どもへの対応：慢性的な疾患	小テスト
8) 子どもの疾病と適切な対応 個別な配慮を必要とする子どもへの対応：障害をもつ子どもと家族	事例を考える
9) 保育における看護 発熱、嘔吐、下痢、脱水	事例を考える
10) 保育における看護 発疹、腹痛、便秘、頭痛、咳	事例を考える
11) 保育における看護 けいれん、急なけがや病気への対応	事例を考える
12) 子どもの事故の特徴 子どもの事故防止と安全の重要性、事故の現状と要因	グループワーク「発達と起こりやすい事故」
13) 事故防止および健康管理・安全管理 災害への備えと危機管理	グループワーク「保育所で起こりやすい事故と事故防止策」
14) 心とからだの健康問題と地域保健活動 愛着障害、発達障害	事例を考える
15) 心とからだの健康問題と地域保健活動 地域、保育所・施設による育児・家庭支援、保育士の役割	子どもの健康問題に対する保育士の役割を整理しよう
授業外学習	
復習：復習を行い知識の確認をしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの保健Ⅱ」佐藤益子編集（ななみ書房）	子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅲ、児童福祉
備考	
【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。	